令和７年４月３日
名古屋地方気象台

東海地方の天候（令和７年３月）

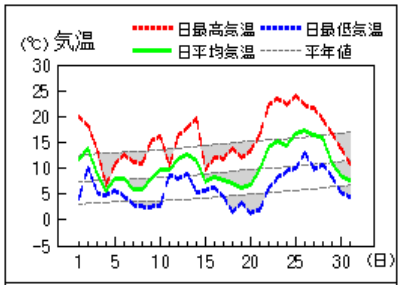
１　概況

低気圧や前線の影響を受けやすい時期があったため、曇りや雨の日が多くなりました。このため、月間日照時間は少なくなりました。暖かい空気に覆われやすかった時期があったため、月平均気温は高くなりました。また、強い寒気が流れ込んだ時期もあって、月を通して気温の変動は大きくなりました。

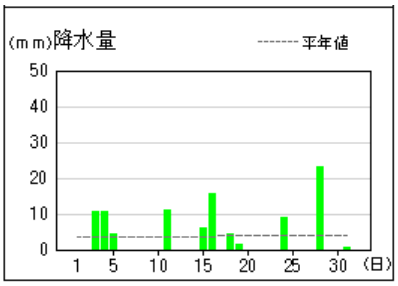
月平均気温は「高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「少ない」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	天気は数日の周期で変わりましたが、低気圧や前線の影響を受けやすく、特に旬の中頃にかけては、本州南岸付近に前線が停滞し、前線上の低気圧の影響などにより曇りや雨の日が多くなりました。このため、旬間日照時間は少なくなりました。 旬の平均気温は「平年並」、降水量は「平年並」、日照時間は「少ない」となりました。
中旬	天気は数日の周期で変わりましたが、低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなりました。このため、旬降水量は多く、旬間日照時間はかなり少なくなりました。また、旬の後半は寒気の影響で気温の低い日が多くなり、終わりには南岸低気圧が通過し岐阜県を中心に雪の降った所がありました。 旬の平均気温は「平年並」、降水量は「多い」、日照時間は「かなり少ない」となりました。
下旬	天気は数日の周期で変わりましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、旬降水量は少なく旬間日照時間は多くなりました。また、旬の終わりに寒気が流入しましたが、中頃にかけて暖かい空気に覆われて気温の高い日が続いたため、旬平均気温はかなり高くなりました。 旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。

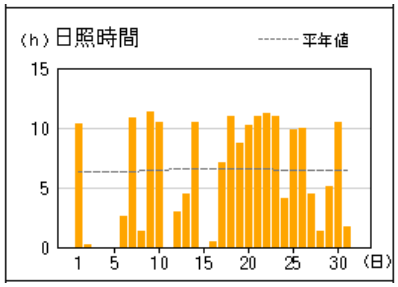
参考　時系列図（名古屋地方気象台）



最高・最低気温(太破線)、平均気温(太実線)と平年値(細破線)℃



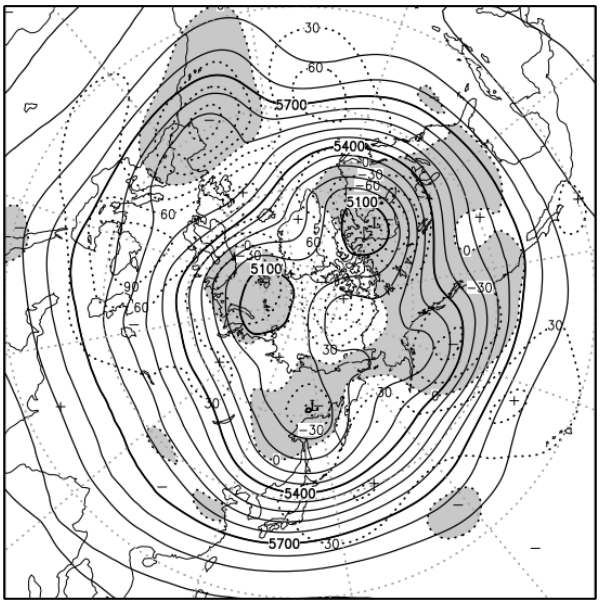
降水量と平年値(破線)mm



日照時間と平年値(破線)h

２　大気の流れの特徴

３月の500hPa天気図（高度・偏差）と解説



等値線間隔　実況（実線）60m、偏差（破線）30m
陰影域は負偏差

亜熱帯ジェット気流が華南付近で南に蛇行して流れ、寒帯前線ジェット気流は北海道付近を流れることが多く、500hPa高度では本州付近は正偏差となり、寒気の影響が弱くなりました。

３　各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温(平年差)(℃)	(℃)	階級	降水量(平年比)(mm)	(%)	階級	降水日数≧1mm	日照時間(平年比)(h)	(%)	階級	降雪深さ(平年値)(cm)	(cm)	階級	最深積雪(平年値)(cm)	(cm)	階級
静岡	12.2	(+1.5)	＋	170.0	(82)	○	14	176.0	(93)	－	－	(0)		－	(－)	
浜松	11.7	(+1.4)	＋	107.0	(73)	－	10	190.0	(94)	－		( )			( )	
御前崎	12.0	(+1.5)	＋	147.0	(88)	○	11	179.2	(90)	－		( )			( )	
三島	11.5	(+1.5)	＋	200.0	(129)	＋	15	165.3	(96)	－		( )			( )	
石廊崎	12.0	(+1.0)	＋	272.0	(184)	＋*	12	169.7	(92)	－		( )			( )	
網代	11.3	(+1.2)	＋	197.5	(125)	＋	14	168.1	(106)	○		( )			( )	
名古屋	10.4	(+1.2)	＋	96.5	(83)	○	10	181.8	(91)	－	－	(0)		－	(0)	
伊良湖	10.5	(+1.1)	＋	145.0	(119)	＋	10	185.1	(92)	－		( )			( )	
岐阜	10.2	(+1.2)	＋	104.0	(79)	－	9	175.7	(90)	－	－	(1)	○	－	(1)	○
高山	4.4	(+1.0)	＋	97.5	(80)	－	13	141.4	(92)	－	11	(29)	－	10	(18)	－
津	10.2	(+1.2)	＋	74.0	(71)	－	9	170.3	(92)	－	－	(0)		－	(0)	
上野	8.5	(+1.2)	＋	64.5	(62)	－*	11	150.7	(97)	○		( )			( )	
尾鷲	11.9	(+1.6)	＋*	208.5	(89)	○	10	177.1	(92)	－		( )			( )	
四日市	9.6)	(+1.5)	＋*	86.0	(73)	－	8	170.2	(94)	－		( )			( )	
東海地方	----	(+1.3)	＋	-----	(96)	○	--	-----	(94)	－	--	(--)	--	--	(--)	--

注）1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。
2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。
＋:高い（多い）　○:平年並　－:低い（少ない）
各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「＋－」に＊を付加した。この場合には以下のように表現できる。
かなり高い（多い）　かなり低い（少ない）
また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。
3. 値の横に) や] がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

４　令和７年（2025 年）３月の順位更新表

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 ㎜	平年比 %	これまでの最大 ㎜ （西暦年）	開始年	平年値 ㎜
1	石廊崎	272.0	184	254.5 （2024）	1940	147.5

参考資料　平年並の範囲（東海地方）

３月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.8 ～ +0.9℃	50 ～ 121%	92 ～ 114%
中旬	-0.7 ～ +0.9℃	64 ～ 123%	95 ～ 108%
下旬	-0.5 ～ +0.8℃	70 ～ 134%	93 ～ 112%
月	-0.4 ～ +0.5℃	81 ～ 116%	100 ～ 106%

資料の解説

・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が 10 個ずつになる）ように決めています。また、値が 1991～2020 年の観測値の下位または上位 10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。